



令和3年・・・・・2月号

ようげいほしじちかい

陽迎橋自治会だより NO.91

あなたのご意見をお聞かせ下さい



にしぼる公園の遊具が古くなってきていることから、浦添市では新しい遊具の設置を計画しています。新設する遊具について市では、公園を利用している地域のみなさんやこれから利用するみなさんの意見・要望を取り入れたいと考えています。

現在、市より委託を受けた(株)沖縄建設技研様がアンケートを行っています。**地域のみなさんのアンケートへのご協力をお願いします。**

お子様のいるご家庭では、お子さまとご一緒にご回答いただくと幸いです。各家庭へ配布されるアンケート用紙で回答し、**2月8日までに返信用封筒でポストに投函下さい。**



RBC i ラジオ 教育特別番組に陽迎橋自治会が出演

「子どもをとりまく貧困

～誰がこの子らを救うのか、貧困の現場から～」



(放送終了後、RBCスタジオで写真撮影)

1月23日(土)午後2時～3時、琉球放送教育特別番組「子どもをとりまく貧困～誰がこの子らを救うのか、貧困の現場から～」が生放送され、陽迎橋自治会の取り組みが報告されました。番組はアナウンサーの狩俣倫太郎さんが進行、元沖縄県中央児童相談所所長の山内優子さん・中学校教員で児童自立支援に関わっている澤岨優子さん、そして陽迎橋自治会長の知花さんの3人が出演しました。番組では、沖縄の子どもの貧困についての現状・背景等を山内さんから報告され、子ども支援の在り方について教育現場の役割を澤岨さんが、地域での支援のあり方・コーディネート事業(アウトリーチ支援)を陽迎橋自治会から報告されました。また、日常的にアウトリーチ支援を行っている金城登喜子さんや小学生の時の利用者で現在支援者になったあかねさんのインタビューも放送されました。番組終了後、「すごい支援ですね」「ラジオ聞きましたよ」「このような地域に育って陽迎橋地域の子は幸せですね」等の声が多数寄せられました。

コロナ禍の中でも 子どもの居場所事業は実施中!

陽迎橋自治会室を利用して子どもの居場所を実施しています。ただし、コロナ対策で、検温・マスク着用、そして「3密」を避ける対応も行っているため、希望者全員の居場所利用は出来ませんが、「どうしても利用したい」お子さんがいましたら自治会室へお越しください。平日の午後3時～6時までのご利用です。それ以降は、コーディネート事業(アウトリーチ支援)となります。

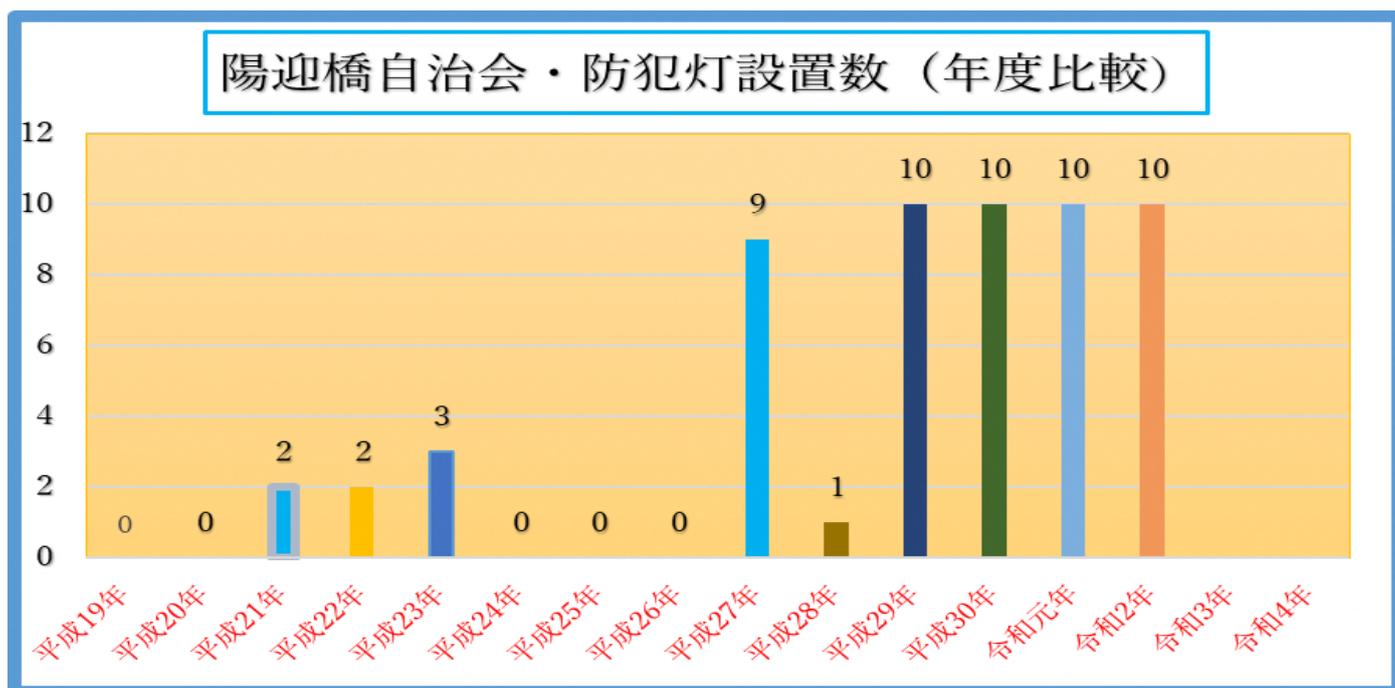


安全な地域・安心できる地域をめざして 令和2年度も、10基の防犯灯を設置



陽迎橋自治会が設立（2007年）される以前のこの地域には、ほとんど防犯灯がありませんでした。もっと安全な地域にしてほしい、夜でも安心して歩ける地域にしてほしい等々の要望が自治会に寄せられました。自治会の財政が強化される中で、下表のとおり積極的な防犯灯の設置を行っています。令和2年度も10基の防犯灯を設置しました。自治会設立からの累計では、57基の防犯灯の設置となりました。

陽迎橋自治会では、今後もより安全な地域・防犯や防災に強い地域をめざし防犯灯の設置を進めていきます。



令和3年2月 クリーンデーin陽迎橋のお知らせ

日時：令和3年2月14日（日）午前9時～11時
場所：ドラゴン公園及びにしぼる公園付近



表彰状（これは表彰状の転写です）

令和二年度 取組賞

貴自治会は特定健康診査受診率向上及び健康づくり活動に大いに貢献されました。

今後も地域の活性化と健康づくりにご尽力されることを期待するとともに感謝の意を表しつごに金一封を贈り表彰いたします。

令和二年十二月二十五日

浦添市長 松本 哲治

.....つながい・支えあえる地域づくりへ.....

陽迎橋「見守り」活動がはじまりました



地域のつながりが希薄化する中で、ひとり暮らしのご高齢者の方などの見守りを必要とする方が増えています。見守りを必要とする方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、地域全体で日常的に見守るネットワークの構築が必要とされています。見守りは、近所の高齢者の方々へのさりげない気遣い、声かけなど、誰もが地域の一員として普段の生活のなかでできることです。陽迎橋自治会では、住民同士が声をかけあい顔が見える関係づくりをすることで、孤立させない、支え合う安心して暮らせる地域づくりを目指します。これらの活動は、陽迎橋自治会・浦添市社会福祉協議会・地域包括支援センター等の事業者の連携により実施します。2021年1月、いよいよ「見守り」活動がスタートしました（事前にご連絡し、了解を頂いた方へ訪問します）。当面は、最高齢者の方々から訪問し、活動の広がりの中で対象者を75歳まで徐々に広げていきます。